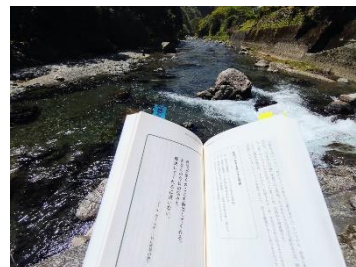


新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

## 受講生発案！鏡川と読書を楽しむ会が開催されました。

鏡川流域の自然の中で、本を読みながらゆったり過ごす時間を作りたい！という思いから、「River&Reading」というスポットを立ち上げた栃木県在住の河野健吾さん(鏡川流域外関係人口講座2期生)。講座の最終回では、鏡川のせせらぎを聴きながら読書をし、参加者同士で学びやひらめきをシェアする読書会を開催したいと提案していました。このアイデアがついに実現！4月22日(土)に、高知市土佐山桑尾沈下橋の古民家にて読書会を開催しました！鏡川流域内関係人口講座1期生の林明保さんが運営するスポット「鏡川・桑尾沈下橋&古民家活用プロジェクト」にご協力いただき、目の前に鏡川が流れる古民家などを活用しての開催です。



河野さんは Instagram で「River&Reading」のアカウントを立ち上げ、川に関する学びや楽しさについての情報を定期的に発信しています！

講座の最終回で河野さんが発表した内容。この内容をブラッシュアップして、企画が実現！

当日の様子を河野さんがレポートしてくれました！



途中参加途中抜け、会場運営側の方含めると、総勢10名の方に参加いただきました。イベント時間は10~13時。あっという間でした。パートナーシップ関係者以外にも、土佐市観光協会の方、土佐市役所の方、いの町地域おこし協力隊の方も参加され、ちょっとした鏡川流域と仁淀川流域の交流会の様相を呈していました。

オープニングでは自己紹介で顔合せ、河野の「紹介したい1冊」をプレゼン。その後、鏡川を見ながら読書タイムスタート。皆さんそれぞれ好きな場所で、好きな本を読んだり、鏡川の自然を楽しんだりしていました。一番人気の席は、林さんが川を見渡せる箇所に設置してくださったソファ席です！読書タイム終了後は、みんなで本の感想と学びの共有タイム。お菓子と飲み物片手に、それぞれが読んでいた本に対する感想や想い入れ、鏡川の感想などを自由に発言していただき、それに対してみんなで楽しく意見交換や共感内容をディスカッションしていただきました。

今回の読書会の本当の狙いは「交流を楽しんでもらうこと」。途中脱線して、読書に関係ない話で盛り上がり、初めまして同士で共鳴しあったのも、僕の狙い通りの展開です。笑

初めましてのはずなのに、共通の知人が明らかになったり、お互いの活動への誘い合いをしたり、連絡先を交換したり・・・。予想以上の人同士の化学反応が起きたことが最大の喜びでした。

参加者からは「せせらぎを聴きながらの読書癒やされました」「鏡川を思う存分堪能できた」「鏡川素敵ですね」「今まで知らなかった土佐山の魅力を知ることができた」「またいつか鏡川流域と仁淀川流域の人たちで、もっと交流してみたいですね」「ここでコーヒーを淹れて飲んでみたい」「いろんな出会いがあり、癒され最高のイベントでした」などの好評をいただき、予想以上の大盛況で読書会を終了しました！

天気も快晴。風が強かったのですが、それでも美しく流れる鏡川に皆さん魅了されていました。



📍 鏡川流域外関係人口講座 1 期生の比留間優子さんも埼玉県から高知市にお越しいただき、読書会に参加されていました！



📍 鏡川流域外関係人口講座のメンターとして関わってくださったかずさまりやさんも読書会に参加！かずさんは高知県内で編集者として活動しており、デザインなどを通じて

高知県内の魅力を伝えていきます。Instagramでも読書会の様子を紹介されています！ぜひご覧ください。



📷 かずさんから当日の写真を提供していただきました！

📱 Instagramはこちらからご覧になれます。

📄 河野さんから読書会の感想をいただきました！／



読書会 River & Reading が予想以上の大盛況で終了し、驚きと余韻に浸っています。読書会という名ではありますが、本来の目的は「人同士のたのしい交流」。鏡川を通じて、たくさんの新しいご縁が生まれたことが何よりも嬉しかったです。会場提供していただいた林さん、運営をお手伝いしてくれた小栗さんにも改めて感謝します。ありがとうございました。



鏡川流域内関係人口講座 2 期生の小栗彩加さんは、読書会に参加したあと、BAL 土佐山 22 周年感謝祭に訪問し、鏡川流域の特産品などに触れました。また、ご自身が運営するスポット「土佐山ジンジャーエール日曜日復活プロジェクト」の活動で鏡川流域関係人口創出事業のPRの一環として日曜市に出店した際の様子などを夢産地とさやま開発公社の大崎理事に報告しました！

鏡川流域関係人口講座受講生がイベントなどを通じて積極的に鏡川流域の自然や人と関わりを深めている姿は本当に素敵です！

📄 小栗さんから訪問の際の感想をいただきました！／

終わりぎわに行ったので、賑わっている様子は味わえなかったのですが、地域の新鮮な野菜が安くて、調理方法もたくさん教えてもらえて、交流できたのが楽しかったし、とても勉強になりました。普段スーパーでは見られないものもあってとても興味深かったです！



No.48 ②



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android